

〔優秀賞〕

◇ 男女共同参画社会に向けて ◇

多田小学校 6年 栗原 里歩

私は、「男女共同参画」って何だろうと思い、調べてみました。男女共同参画社会、男女共同参画とは、男女がお互いを尊重し合い、職場や学校、家庭や地域などの社会のあらゆる分野で、性別に関わらず、個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会のことだそうです。

私は、ふと自分の家庭のことを思い浮かべました。私の両親は、共働きをしています。父は、長きよりトラックの運転手で、毎日、私が学校から帰る頃に出勤します。そして、翌朝、私が起きる頃に帰宅します。母は、私が学校へ行く頃に会社へ向かい、夕方まで仕事をしています。二人ともとてもいそがしいので、家事を分担したり、協力し合っています。父は仕事から帰って来ると、洗たく物を干したり、お風呂や部屋のそうじをしたりしてくれます。母は仕事から帰って来ると、家のことはもちろん、学校のことや習い事の送迎も行い、私と兄の話も聞きながら、いそがしく家でも動いています。私の両親は、男性だから仕事だけしているわけではなく、女性だから家事だけをしているわけでもなく、男女のかき根なく、平等に助け合っていて、すてきな関係だと思いました。

私は、柔道を習っています。柔道の大会では、男女別の大会もあれば、男女混合の大会もあります。小学生のうちは、男女間で体力も力も変わりません。でも、中学生からは男女別になります。体力差なども出てくるので、それは仕方のないことだと思います。ただ、

「女の子なのに、柔道をやっているの？」と言われると、それは差別だと思い、悲しくなります。パリオリンピックも行われているため、種目によって差別がないよう、スポーツの素晴らしさが広まってくるとよいです。

職業でも、力仕事や体力のいる仕事、女性では、難しい仕事があるかもしれません。実際に職業によって男性が多い仕事に女性がいったり、その逆もあったりします。それでも、やりたい仕事ならば、女性だからとあきらめるのではなく、お互いのよいところを認め合い、周りの人たちと助け合いながら、気持ちよく仕事ができるとよいと思います。

今年の「男女格差（ジェンダー・ギャップ）報告」で、日本は146位中118位でした。過去最低だった昨年の125位からは順位が少し上がりましたが、先進7カ国では、い然として最下位です。様々な職業で活躍する女性が増えています。会社で責任のある仕事をする女性や政治で活躍する国会議員などの議員の割合が低いことなども原因になっているそうです。私のまだ見えていないところで、男女の性差によって嫌な思いや悲しい思いをしている人たちがいることが分かりました。これからも、社会のニュースなどに目を向け、男女の性差なく、いきいきとかがやける社会になるよう、私もうまうま生きていきたいです。